

令和元年8月19日（月）

四国地方整備局 那賀川河川事務所

なかがわ
令和元年8月台風第10号による那賀川の
出水状況について（速報）

ながやすぐち
～長安口ダムの洪水調節能力を効果的に発揮し、下流の被害を大幅に軽減～

- ◇台風第10号の降雨により、長安口上流域では、降り始め（8月13日21時）から8月15日24時までに、累計雨量約639mmを記録しました。
- ◇那賀川橋にある古庄水位観測所（以下、古庄地点）では、危険な状態を示す**氾濫危険水位5.80mを約9cm超過**しましたが、その後速やかに低下しました。
- ◇堤防が整備されていない地域については、那賀川の水が溢れて、農地や道路が浸水しました。また、堤防が整備されている地域についても、那賀川へ流れ込む支川の水が排水できないことから、農地や道路が浸水しました。なお、今回の洪水による**家屋浸水被害は、ありませんでした。**
- ◇長安口ダムでは、改造事業による洪水調節容量増強により、**改造事業前の約1.1倍の洪水調節容量を確保**するとともに、さらに事前にダムに貯留している水を流下することにより**約1.5倍の洪水調節容量を確保**し、ダムの治水施設能力を効果的に活用しました。【別紙参照】
- ◇**最大流入量約3,850m³/sのうち約554m³/sをダムに貯留し、ダムからの流下量を3,296m³/sとすることで下流の流量を低減させ**ました。なお、ダムの貯留により、**古庄地点で約80cmの水位低減**が図られたと考えられ、ダム下流域における家屋浸水を回避するなど、洪水による被害を大幅に軽減することができました。

※本資料における数値は、発表時点の速報値であり、今後修正する可能性があります。

令和元年8月19日

国土交通省 那賀川河川事務所

【お問合せ先】（◎：主な問い合わせ先）

国土交通省 那賀川河川事務所 ◎副 所 長 清水 敦司（内線204）

副 所 長 坂本 雄彦（内線205）

調査課長 青木 朋也（内線351）

TEL：0884-22-6562（調査課直通）

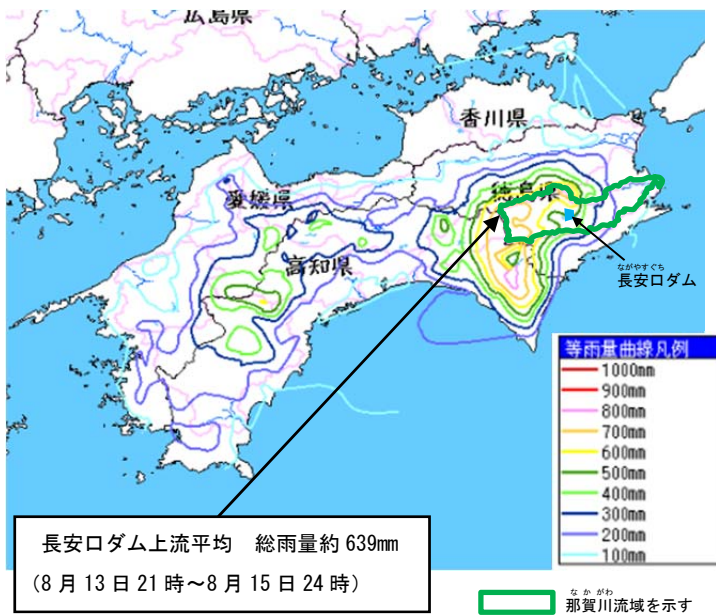
気象の概要

8月6日15時にマリアナ諸島で発生した台風第10号は、15日午後3時ごろ、強い勢力を維持したまま広島県呉市付近に上陸しました。

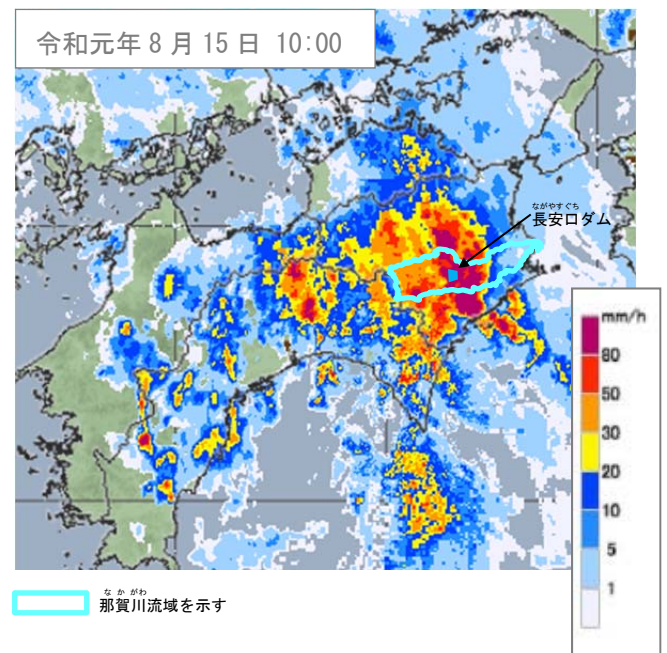
台風を取り巻く雨雲により、徳島県では猛烈な大雨となり、長安口上流域では、降り始め（8月13日21時）から8月15日24時までに累計雨量約639mmを観測しました。

この降雨により、那賀川橋にある古庄水位観測所（古庄地点）では、15日15時10分に最高水位5.89mを観測し、氾濫危険水位（5.80m）を9cm超過しました。

■等雨量線図（総雨量）



■レーダ雨量実況図（気象庁）



▲ 那賀川橋（那賀川河口から7km付近）
令和元年8月15日15時10分頃
水位5.89m（古庄地点）



▲ 那賀川橋（那賀川河口から7km付近）
平常時（古庄地点）

■出水経過一覧（8月14日～8月15日）

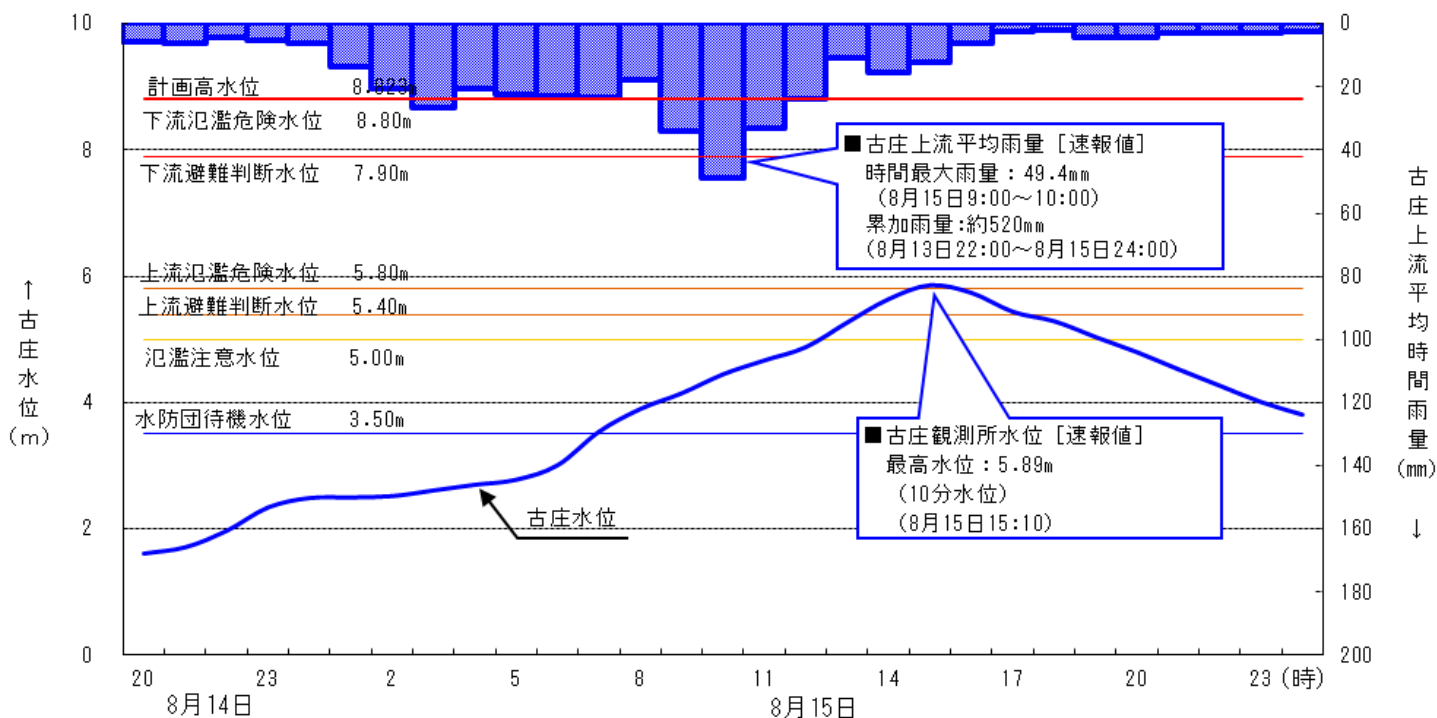
8月14日	16時20分	大雨警報（阿南市・小松島市）洪水警報（那賀町）発表（气象台）
	16時55分	ホットライン 那賀町長へ
	17時00分	那賀川河川事務所 注意体制
	17時03分	ホットライン 阿南市長へ
	20時30分	リエゾン 阿南市災害対策警戒本部会議（第1回）に出席
	21時10分	大雨警報（那賀町）発表（气象台）
8月15日	0時00分	リエゾン 阿南市災害対策警戒本部会議（第2回）に出席
	4時18分	洪水警報（阿南）発表（气象台）
	6時00分	リエゾン 阿南市災害対策警戒本部会議（第3回）に出席
	7時00分	水防団待機水位（3.50m）到達【古庄】
	7時10分	水防警報（那賀川・待機）発令
	7時15分	ホットライン 那賀町長へ
	8時30分	リエゾン 阿南市災害対策警戒本部会議（第4回）に出席
	8時45分	ホットライン 那賀町長へ
	9時21分	リエゾン 那賀町①
	9時31分	リエゾン 那賀町②
	9時41分	リエゾン 那賀町③
	9時51分	リエゾン 那賀町④
	10時00分	水防警報（那賀川・準備）発令
	10時06分	リエゾン 那賀町⑤
	10時17分	リエゾン 那賀町⑥
	10時30分	ホットライン 那賀町長へ
	10時31分	リエゾン 那賀町⑦
	10時47分	リエゾン 那賀町⑧
	11時00分	那賀川河川事務所 警戒体制
	11時00分	リエゾン 阿南市災害対策警戒本部会議（第5回）に出席
	11時27分	洪水警報（小松島市）発表（气象台）
	11時30分	長安口ダム最大流入量約3,850m ³ /sのうち約554m ³ /sをダムに貯留し、ダム流下量約3,296m ³ /sとすることで下流の流量を低減。
	12時20分	氾濫注意水位5.00m超過【古庄】
	12時30分	水防警報（那賀川・出動）発令
	12時40分	那賀川氾濫注意情報 洪水注意報（警戒レベル2発表）古庄上流
	12時55分	リエゾン 那賀町⑨
	13時00分	リエゾン 阿南市災害対策警戒本部会議（第6回）に出席
	13時20分	避難判断水位5.40m超過【古庄】
	13時20分	ホットライン 阿南市長へ
	13時38分	リエゾン 那賀町⑩
	13時45分	那賀川氾濫警戒情報 洪水警報（警戒レベル3発表）古庄上流
	15時10分	最高水位（5.89m）到達【古庄】
	15時00分	リエゾン 阿南市災害対策警戒本部会議（第7回）に出席
	15時36分	リエゾン 那賀町⑪
	17時00分	リエゾン 阿南市災害対策警戒本部会議（第8回）に出席
	18時55分	那賀川氾濫注意情報 洪水注意報（警報解除）古庄上流
	19時00分	リエゾン 阿南市災害対策警戒本部会議（第9回）に出席
	19時30分	那賀川河川事務所 体制解除
	19時35分	那賀川氾濫注意情報解除 洪水注意報解除 古庄上流
	19時40分	水防警報（那賀川・解除）発令

那賀川の出水状況

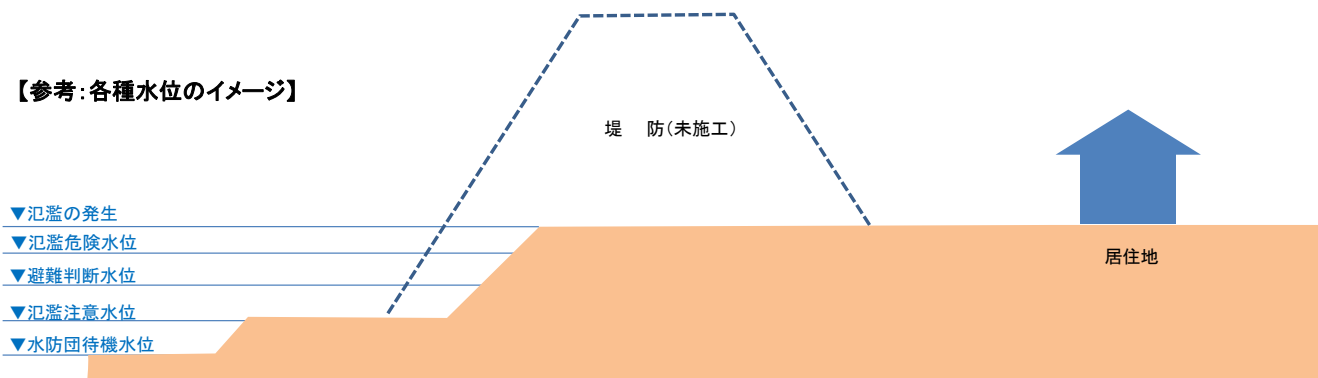
台風第10号による長安口上流域の平均雨量は、8月13日21時から8月15日24時に総雨量約639mmを観測し、古庄上流域の平均雨量は、8月13日21時から8月15日24時までに累加雨量約520mmを観測しました。

那賀川流域では、古庄地点^{ふるしょう}において8月15日7時00分に水防団待機水位、15日12時20分に氾濫注意水位、15日13時20分に避難判断水位（上流）を超過し、15時10分には最高水位（5.89m）を記録し、その後速やかに低下しました。

■雨量水位グラフ



【参考:各種水位のイメージ】



氾濫危険水位	氾濫の恐れが生じる水位
避難判断水位	避難判断の参考となる水位
氾濫注意水位	氾濫に関する情報に注意する水位 水防団が出動して活動を行う目安となる水位
水防団待機水位	水防団が水防活動の準備を始める目安となる水位

浸水被害状況図【令和元年8月台風第10号】

那賀川水系那賀川

地区	浸水面積 (ha)	浸水家屋 (戸)
加茂	約30	0
深瀬	約 1	0
吉井	約 6	0
楠根	約 3	0
持井	約 4	0

凡 例	
	溢水氾濫区域
	内水氾濫区域

※ピロティーは除く

写真④ 楠根(くすね)地区



令和元年8月15日21時50分頃

写真⑤ 持井(もちい)地区



令和元年8月15日14時40分頃

写真⑥ 那賀川大橋(古庄(ふるしょう))



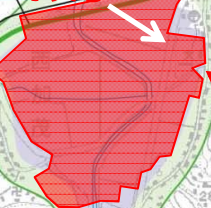
徳島県阿南市上中町南島 那賀川橋
令和元年8月15日15時10分頃

写真③ 吉井(よしい)地区



令和元年8月15日16時00分頃

写真② 加茂(かも)地区



写真① 加茂(かも)地区



加茂谷(かもだに)中学校
令和元年8月15日14時00分頃

写真② 加茂(かも)地区



加茂谷(かもだに)中学校
令和元年8月15日14時40分頃



出水対応（排水ポンプ設備等稼働状況）

8月15日、台風第10号による出水に伴い河川の水位が上昇した。那賀川河川事務所では、那賀川本川での内水氾濫による浸水被害を防ぐために、暴風・豪雨のなか排水ポンプ運転及び樋門ゲートの開閉操作を確実にし浸水被害の軽減に努めました。

■排水ポンプ設備等の稼働状況

排水機場名	位置	ポンプ規模	稼働時間 (8月15日)	備考
<small>クスネ</small> 楠根排水機場	那賀川左岸 <small>クスネ</small> (楠根下流地区) 12.5km付近	2.0m ³ /s	9:04～19:32	約68,000m ³ を排水
<small>クマダニガワ</small> 熊谷川排水機場	那賀川右岸 <small>ヨシイ</small> (吉井地区) 13.6km付近	5.0m ³ /s	6:33～21:03	約225,000m ³ を排水
排水ポンプ車	那賀川左岸 <small>フカセ</small> (深瀬地区岡崎川樋門) <small>オカザキガワ</small> 16.3km付近	2.5m ³ /s	12:25～ 15:50	約31,000m ³ を排水

■排水ポンプ設備等の稼働状況

- ・那賀川左岸に出動した排水ポンプ車1台（2.5m³/s）により深瀬地区の浸水被害の軽減を図っています。



【深瀬地区】令和元年8月15日、15時44分

■排水機場の効果

- ・那賀川左岸楠根下流地区に設置された楠根排水機場では、排水ポンプ（2.0m³/s）により楠根下流地区の浸水被害の軽減を図りました。



【楠根地区】令和元年8月15日、9時28分

長安口ダムの洪水調節

長安口ダムは、洪水の一部を貯留し、ダム下流への流下量を低減する機能を有しています。

台風第10号において長安口ダムでは、最大流入量約3,850 m³/sの時に約554 m³/s調節し、流下量を約3,296 m³/sにすることにより下流の流量を低減させました。

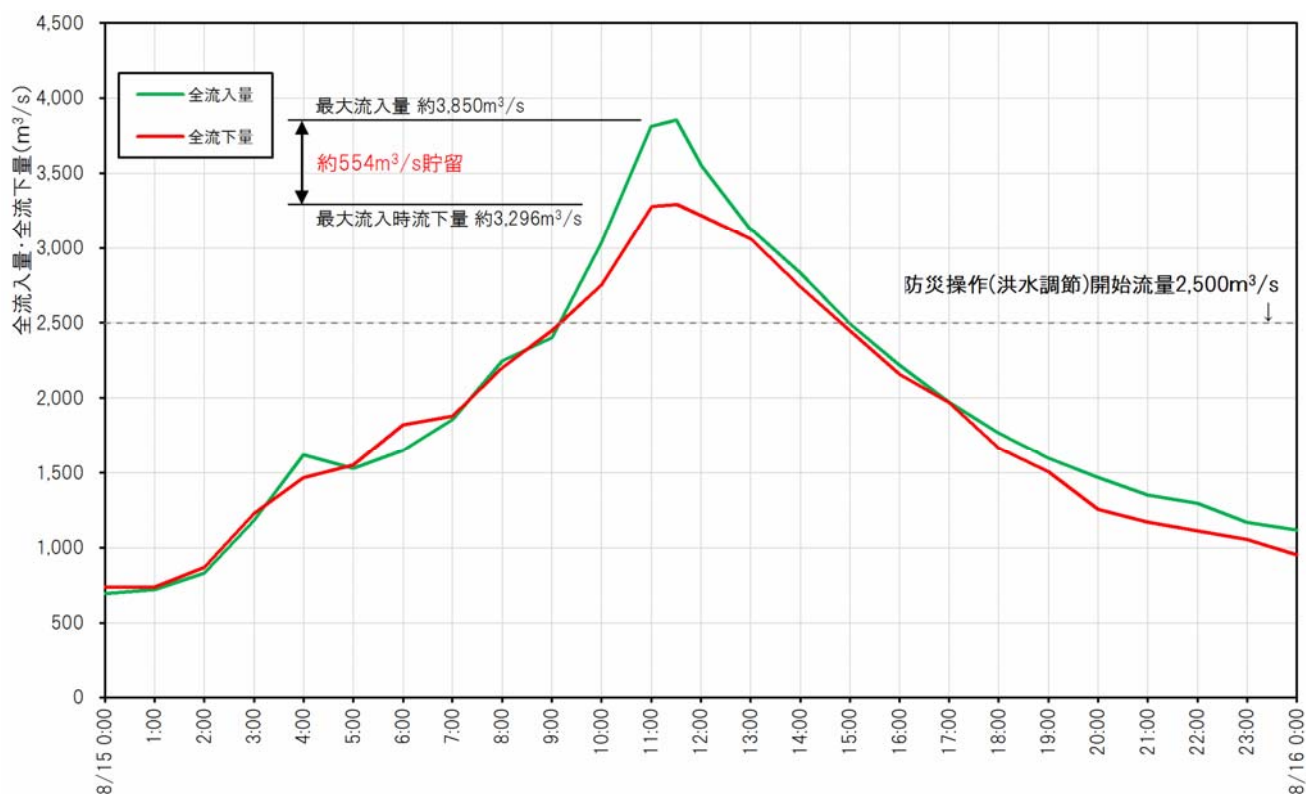
	洪水を迎える水位	確保したダム容量	改造前のダム容量との比率
長安口ダム改造前	219.7m	約1,096万m ³	—
長安口ダム改造後	218.7m	約1,200万m ³	約1.1
今回	216.3m	約1,600万m ³	約1.5



長安口ダム (那賀川) 那賀町 ダム直下流
令和元年8月15日午前11時9分頃

▲長安口ダムの放流状況

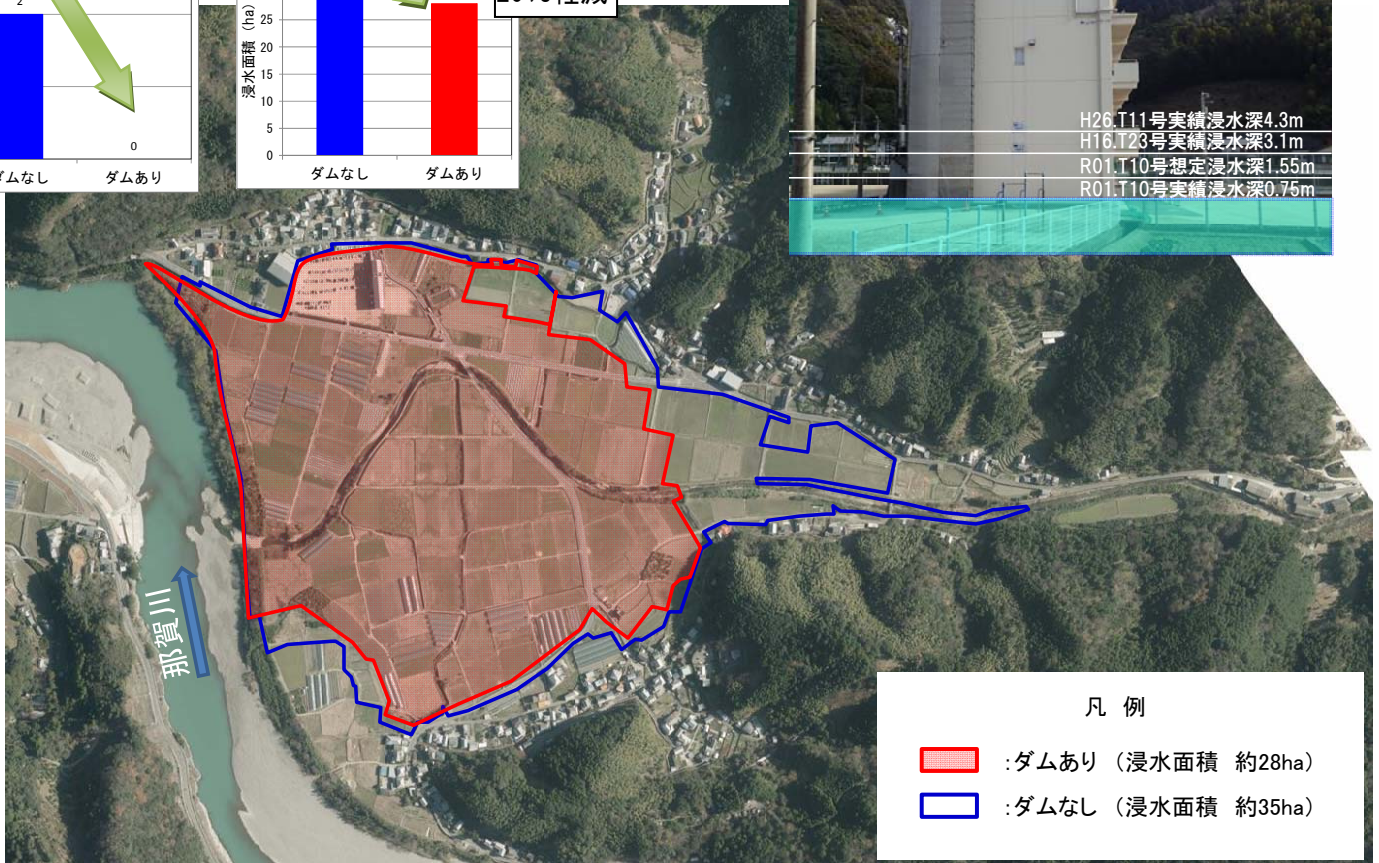
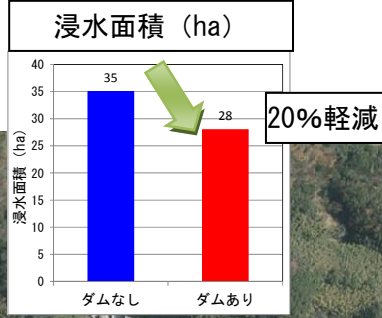
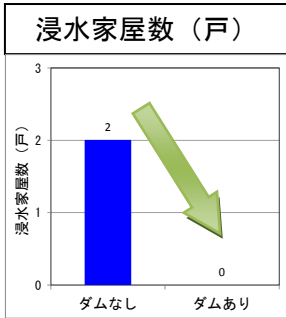
■流量グラフ



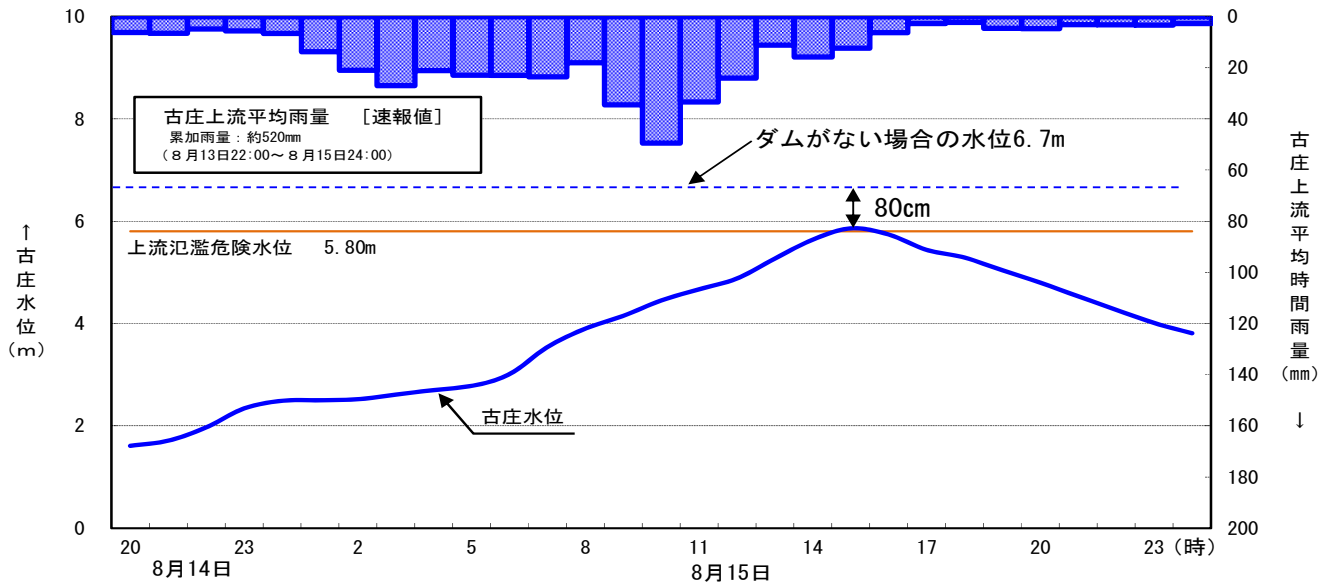
※本資料における数値は現時点での速報値であり、今後修正される可能性があります。

長安口ダムの洪水貯留により下流の浸水被害を大幅に軽減！

- 加茂地区の効果として、ダムがなかった場合の被害として、床下浸水2戸、浸水面積も約7ha、
 溢水量も約24万m³（25mプール約600杯分）多くなることが考えられます。
- また、長安口ダムでは、事前にダムに貯留している水を流下することにより、通常の洪水調節容
 量よりも約1.5倍の容量を確保するなど、現在のダムの施設能力を効果的に発揮することができ
 ました。



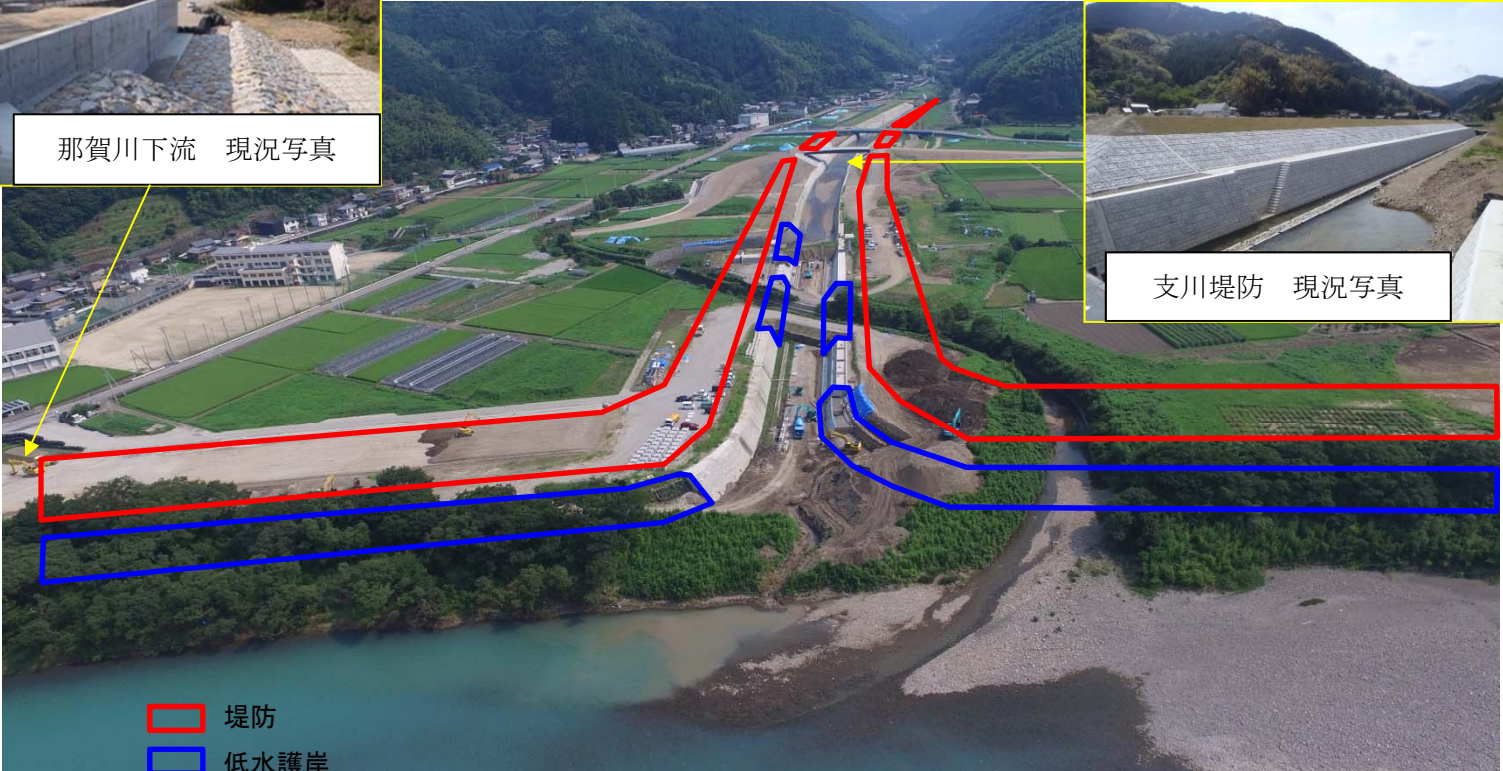
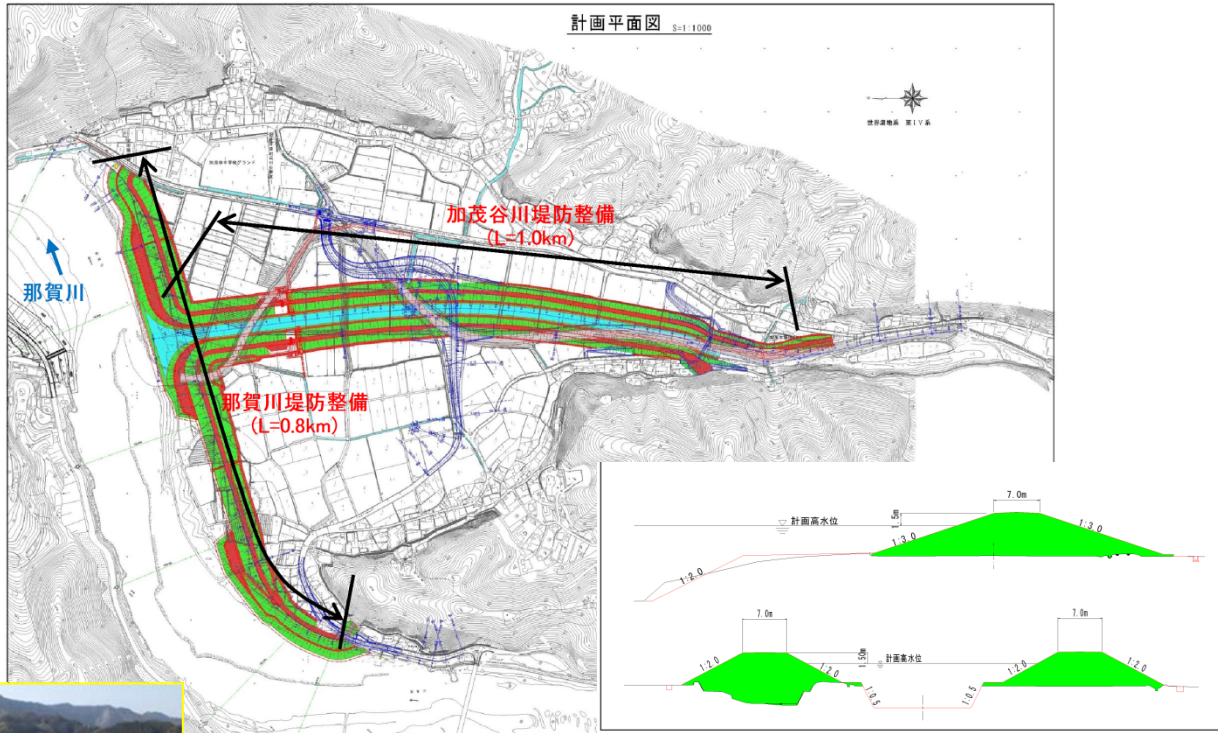
雨量水位グラフ



※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

那賀川床上浸水対策特別緊急事業（加茂地区堤防）

阿南市加茂町加茂地区は、那賀川本川に堤防がないため、那賀川の氾濫によって毎年のように浸水被害が発生しており、特に平成26年8月の台風第11号による洪水では、家屋の床上浸水152戸、床下浸水37戸という甚大な被害が発生しました。このため、那賀川の氾濫による家屋の浸水被害を防止することを目的に、那賀川本川及び加茂谷川に堤防を整備する事業を「那賀川床上浸水対策特別緊急事業（加茂地区堤防）」として令和2年度末の完成を目指し平成27年度から緊急的かつ集中的に事業を実施しています。



- 堤防
- 低水護岸

※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。